

第1層協議体ダイジェスト版 「地域を強くするために今何が必要か」

SC
(生活支援
コーディネーター)
活動報告

第1層生活支援コーディネーターから

- ・各おたすけ隊定例会に参加
- ・高萩団地の情報交換会に参加
- ・地域おたすけ隊協力会員研修とコーディネーター会議を開催
→たかね地域おたすけ隊で、がん治療の通院に1か月半毎日、
5名の運転手で支援した。おたすけ隊の力のすごさを再確認した
- ・在宅介護の講座「楽笑介護のすすめ」を開催。→次回、11月29日の開催予定

第2層生活支援コーディネーターから

●宮崎生活支援コーディネーター（高麗包括）

- ・旧地区武蔵台で地域ケア会議を開催
- ・台交流サロンで、くりくりげんき体操とポッチャ体験
・認知症カフェで…

地域の方の声

「手伝いをした人の感想：身近な生活の知恵や昔の話で盛り上がった」
「参加した人の感想：デイサービスは行きたくないが、ここなら安く
参加できる」
「グランドゴルフに若い人の参加が少ない。」

●内野生活支援コーディネーター（高麗川包括）

- ・こま川団地の会議、前半地域ケア会議・後半第2層協議体開催
- ・原宿とたかねのおたすけ隊ミーティングに参加
- ・ファミリーまるひろで健康イベント開催。当日の参加者は、180名

地域の方の声

「こま川団地内で、ごみの不法投棄」

●伊藤生活支援コーディネーター（高萩包括）

- ・高萩団地の定期情報交換会を開催。今後民生委員さんの集まりと定期情報交換会を分けて開催
- ・川越のかすみ野包括と地域との連携についての意見交換に参加
- ・日高団地の法人の移動支援→進捗状況に変化なし。
- ・認知症カフェは、高萩公民館とデイサービス雅で開催。

地域の方の声

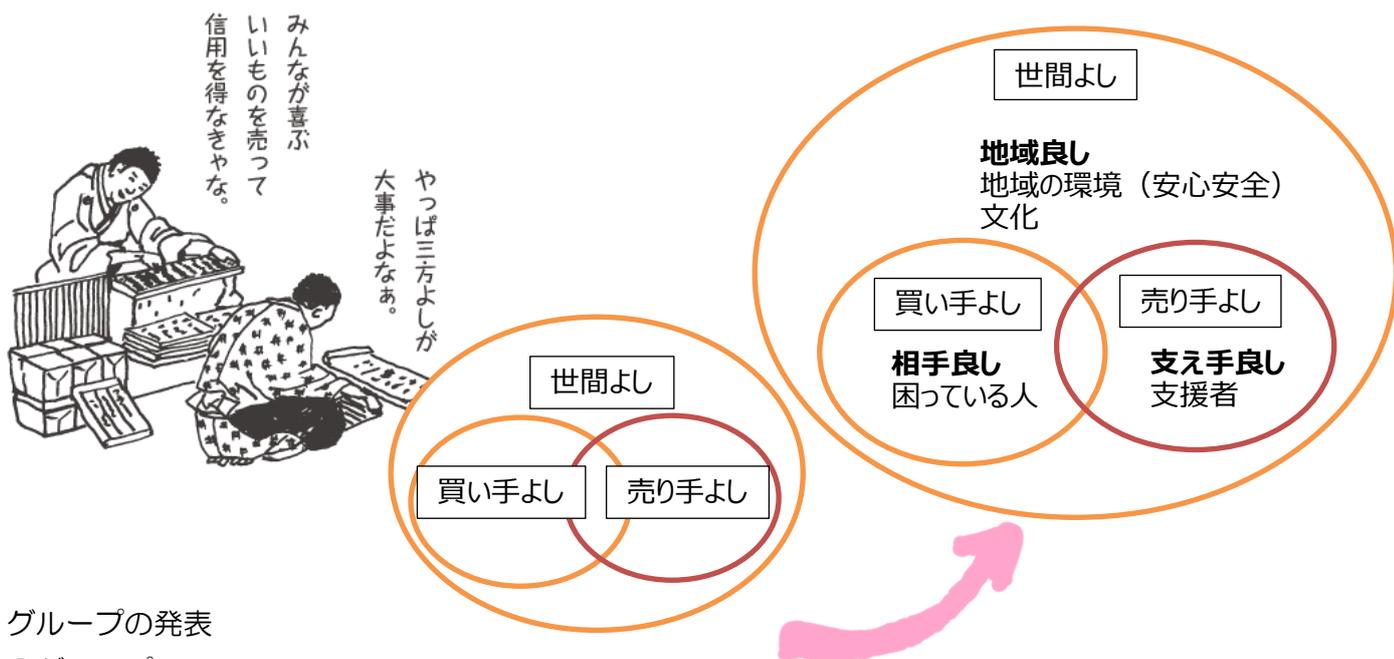
「高萩団地では移動や廃棄物等が野積みされた建物や敷地が課題」

第1層協議体の今後のすすめかた

■社協事務局次長 小野寺

～「相手よし」「支え手よし」「地域よし」の「三方よし」の関係づくり～
グループワーク

江戸時代の近江商人の話、「三方よし」を皆さんの活動に置き換えてグループワーク



グループの発表

●グループ 1

- ・障がいを持った徘徊してしまう人に対し、本人にその理由を聞くと外に出たかったことが分かった。本人に警備保障会社が提供する位置情報通知装置をつけることにした。→地域が安心した。→家族の中もよい関係になった。
- ・安心安全な食の提供すること。→みんなの健康寿命が延びる。→同じ価値観を持つ仲間が集まり、結束力でパワーを発揮できる。

●グループ 2

台風の時、避難所への移動におたすけ隊を利用したいと依頼があったが、おたすけ隊も危険な状態での移動なのでタクシーで行ってもらった。このことから気づいたのが

- ・社会的弱者→多様な参加者が集まれば、コミュニケーション豊富→家から出られない理由を見つけ出すのに、複数のツールを使う
- ・たかねサロンでくりくり体操。→参加者が杖を使わなくなった。→友達や仲間が出て路線バスに乗って飯能のメッツアに行った。
- ・ニーズをどうやって掘り起こすか。家から出ない人をどう見守るか。→いろいろな連絡網を使う。

●グループ 3

- ・サロンへのお誘い。→参加者の笑顔が支え手のやりがいにつながる。
- ・ふれあいサロンがあるショッピングセンターのベンチでおしゃべりをしている人をどうやってサロンに来てもらうには。→催しものをする。
- ・知っている人に頼むより、お金払っておたすけ隊に頼む方が頼みやすい人が増えている

【関係づくりのツール】

三方よしの関係づくりでよいツールは、「マップ」！

どの地域で何をやっているか、共有しやすい。支え手にも相手にも役立つ。

次回は、皆さんがどのようなマップが欲しいかイメージをしてきてほしい。

